

令和6年度個別学力試験問題

小論文

(看護学科)

解答時間 120分

配点 100点

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入してください。
3. 解答は解答用紙の指定された解答欄に横書きで記入してください。
4. 問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

研究室の卒業生でボランティアに熱心な青年がいます。彼の話を知っていると、その場に行くと困っている人を見ると助けざるをえない気持ちになるそうです。彼に限らず、人間は同胞を助ける気持ちが強くあります。目の前で、お年寄りや小さい子供が道でつまずいたりすると、おもわず「危ない」と助ける行為はほとんどの人に見られるのではないのでしょうか。特に自分にメリットが還ってくるのを期待するわけでもなく、とっさに取る行為といえるでしょう。このような行為は利他的行動といわれます。このような利他的行動は生物が誕生し進化するなかで、どのようにして生じたのでしょうか。そして、利他的行動は自己のためではなく、本当に他の個体のために行っている行為なのでしょうか。

利他的行動のほうが、利己的行動よりも集団としてのメリットが大きいという説があります。災害が起こったときに人々が利己的に我先に逃げ出すのではなく、利他的に助け合う行動のほうが多く助かることが分かっているからです。逃げ道を見つけたときに、ひとりだけ逃げるのではなく、逃げ道があることを皆に知らせるほうが助かる人間が多く、集団としてのメリットが大きい。また、逃げる途中、さらなる困難にぶつかったときに、今度は別の人間が逃げ道を見つけたりするので、助かる確率が高くなります。結局、こうした助け合いが集団を利することになります。

集団内での助け合いは動物にも見られます。シジュウカラガンやミーアキャットのように、鳥類や哺乳類の世界では自分が属する集団を守るために見張り役を行う個体が存在します。この個体は外敵が近くにきたことを察するとけたたましい警告音を出して仲間に危険を知らせます。その個体は目立つ行為をするので外敵の餌食になりやすく、このような行為はその個体自身にとってはデメリットといえるでしょう。それにもかかわらず、こうした利他的行動には集団全体で見ると、逃げる準備ができ生存率が高くなるというメリットがあるように思えます。

しかし、これには別の見方もあります。最初に敵を発見した個体にしてみれば、黙って飛び立つと群れから離れるリスクが大きいので、危険を少なくするため、警告音を発して他の仲間と同時に飛び立つほうを選ぶのだという考え方です。そのため、警告音を発する行為は、純粋な利己的の行為であり、他個体に対する「操作」だという説もあります。

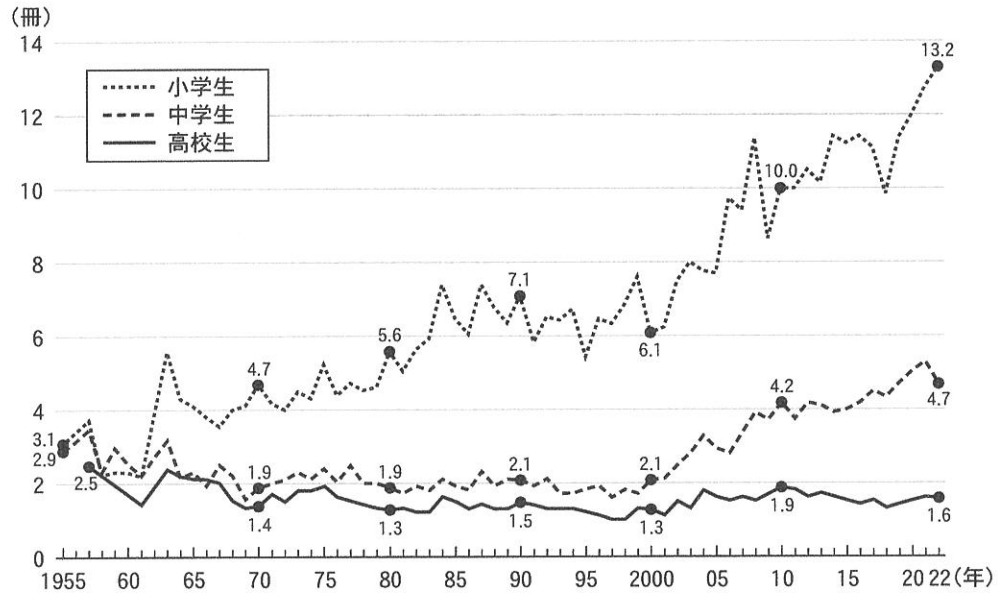
南極のコウテイペンギンはアザラシが天敵で、ペンギンたちは水際でアザラシがいるかどうかを判断してから、海に飛びこみ魚をとります。ただ、最初に飛びこむペンギン(ファーストペンギンと呼ばれる)はアザラシが隠れていたら餌食となってしまいます。それで皆、最初に飛びこむことを躊躇しますが、飛びこまないことには獲物がとれません。そのような状態で最初に飛びこむファーストペンギンは一見すると、利他的行動をしているように見えますが、実際は利己的行動の結果、起こった可能性もあります。というのは、このとき仲間を押してわざと水中に落とし、アザラシがいるかどうかを探る個体がいるようなのです。利他的行動、利己的行動といっても、それは外部から眺めた評価であって、実際は明確に区別するのは難しいということです。

(出典：鈴木正彦，末光隆志，『「利他」の生物学 中公新書 2763』，中央公論新社，2023 年より)

問 1 利己的行動と利他的行動について文章から読み取り，200 字以内(句読点を含む)で説明しなさい。

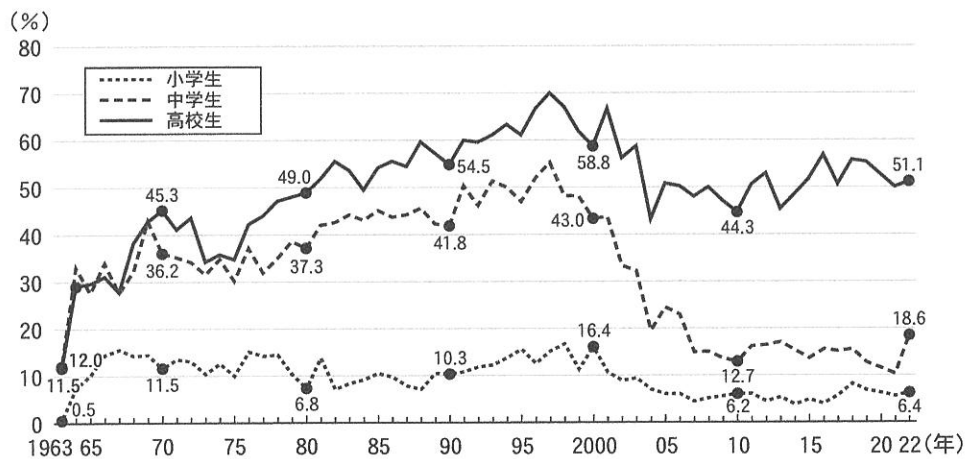
問 2 本文中の「研究室の卒業生でボランティアに熱心な青年」の行動について，本文の内容を踏まえてあなたの考えを 400 字以内(句読点を含む)で述べなさい。

2 飯田一史著『若者の読書離れ』というウソ 中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか』
より抜粋した図1～図3をみて、あとの問いに答えなさい。



全国学校図書館協議会「学校読書調査」各年を参照し作成

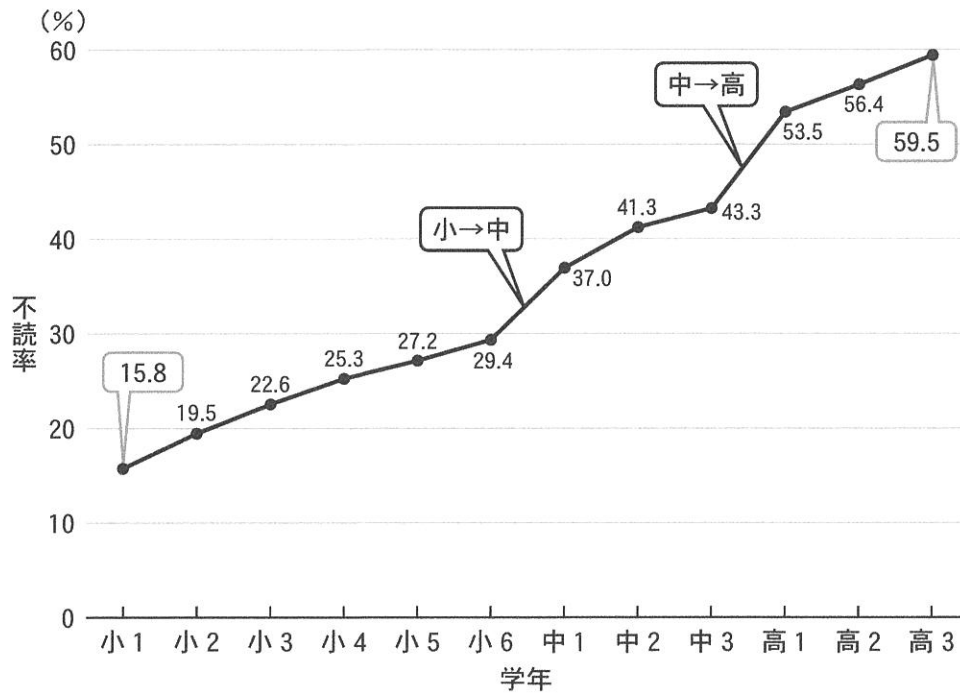
図1 小・中・高校生の1カ月間の平均読書冊数(書籍)



全国学校図書館協議会「学校読書調査」各年を参照し作成

図2 小・中・高校生の書籍の不読率

*全国学校図書館協議会が毎年行う「学校読書調査」では、毎年5月1カ月間に1冊も本を読まない子どもの割合として、図2の不読率を出している



「子どもの生活と学びに関する親子調査 Wave 1～4, 2015–2019」に基づく猪原敬介による調査をもとに作成

図3 学校外での学年別不読率

(出典：飯田一史、『「若者の読書離れ」というウソ 中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか』、株式会社平凡社、2023年より抜粋・一部改変)

問1 図1～図3から読み取れることを5つ箇条書きで書きなさい。

問2 著書『「若者の読書離れ」というウソ 中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか』の“はじめに”の中で、著者は教育関係者やメディアが指摘する「若者の本離れ」は実態に基づいていない古いイメージだと述べています。このことについて、図1～図3の示すデータを根拠に、あなたの考えを300字以内(句読点を含む)で述べなさい。